



PRESS RELEASE

平成 17 年 4 月 20 日
ジャパン ケーブルキャスト株式会社

JC-HITS、TDN と光伝送共同実験を開始！

～ 衛星系と地上系を組み合わせた信頼性の高い伝送ネットワーク構築へ。～

ジャパン ケーブルキャスト株式会社(以下、ケーブルキャスト、本社:東京都中央区、代表取締役社長:藪下 憲一)は、ケーブルテレビ局向けデジタル化ソリューションサービス「JC-HITS」(ジェイシー・ヒッツ)の光配信実験を株式会社東京デジタルネットワーク(以下、TDN、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:淀 敬氏)と共同で行うこととなりましたのでお知らせいたします。

現在、社団法人日本ケーブルテレビ連盟を中心に、広域連携構想がケーブルテレビ業界内で盛んに議論されています。ケーブルキャストは本構想に基づき、広域連携の基点構築を目的に、この度JC-HITS デジタル配信センター(神奈川県横浜市)と株式会社アット東京(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石垣 禎信氏)のデータセンター(東京都江東区)に設置するデジタルヘッドエンドとを光回線で接続し、番組配信実験を行います。実験にあたってはTDNにご協力をいただき、ヘッドエンドおよびCAシステムの動作確認、地上回線と衛星回線との切り替え確認等技術的な検証を行います。また信頼性の観点から、IP方式ではなく、ATM方式で伝送いたします。

本実験により、衛星系と光回線系を組み合わせたより安定性・信頼性の高い配信ネットワークの実現が可能となります。またJC-HITSは3種類のC-CASにも対応しておりますので、広域連携構想においても各ケーブルテレビ事業者様の様々なニーズに沿った形での番組配信が実現できるものと考えております。さらに将来につきましてはハイビジョンコンテンツの伝送を視野に入れた検討を行ってまいります。

JC-HITS サービスは、デジタルならではの高付加価値サービスを効率的に実現できる最適なデジタル化ツールとして、ケーブルテレビ事業者様に幅広く認知、ご理解をいただいております。今後ともケーブルテレビ事業者様と一体となって、ケーブルテレビ業界の一層の発展のため効率的なソリューションを提供してまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)
ジャパン ケーブルキャスト(株) 経営企画部 前田
電話 03-5299-2502
URL: <http://www.cablecast.co.jp>

(添付資料)

1. 光伝送実験の概要
2. 光伝送実験構成図



実験の概要

【実験概要】

JC-HITSデジタル配信センター(神奈川県横浜市緑区)から地上系専用回線(光ファイバ)を利用し、(株)東京デジタルネットワークのヘッドエンドが設置されているアット東京データセンター(東京都江東区)へ番組配信実験を行います。詳細につきましては、下記の通りです。

配信チャンネル数 / TS数 : 24ch / 3TS

TSレート / 1TS : 31.644Mbps

光ファイバ帯域 / 1回線 : 40Mbps

【実験内容】

ヘッドエンド装置(トランスモジュレーション方式)の動作確認
日本ケーブルラボ認証3社(松下、日立、パイオニア)のCASの動作確認
地上系回線と衛星回線の切替

【実験期間】

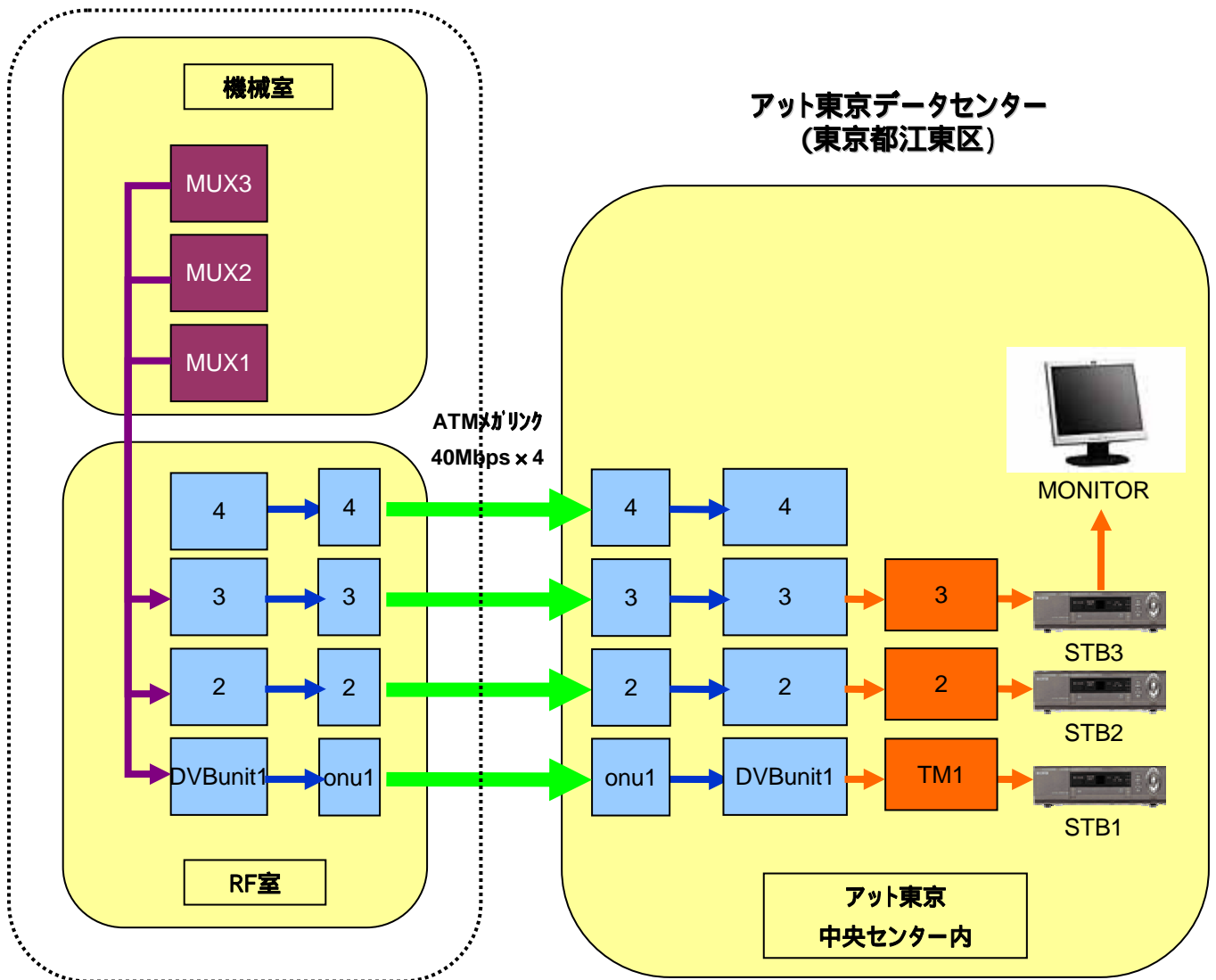
平成17年4月18日より9月まで



光伝送実験構成図

JC-HITSデジタル配信センター
(横浜市緑区)

アット東京データセンター
(東京都江東区)



DVBunit 8台

TM TM × 3台、STB × 3台、
MONITOR × 1台